

MC-101 アップデート

Ver.1.71 の追加機能

シーン・チェイン機能の追加

シーンを連続して再生できるようになりました。

シーン 1-1 から後ろの番号に向かって順番にシーンを再生します。
(1-1 → 1-2 → 1-3 → ...)

シーンを連続して再生する

1. [CLIP] ボタンを押しながら [SEQ] ボタンを押します。

SCENE 画面が表示されます。

2. [SHIFT] ボタンを押しながら、編集したいシーンのパッドを押します。

SCENE CHAIN 画面が表示されます。



パラメーター	設定値	説明
LENGTH	OFF ~ 127	シーンが切り替わるまでの長さを設定します。 次のシーンに切り替わるまでのマスタークロックの回数を設定します。
CHAIN	OFF、ON	シーン・チェインの ON / OFF を切り替えます。 ※ SCENE 画面で [SHIFT] ボタンを押しながら [VALUE] ダイアルを押すことでも、ON / OFF を切り替えることができます。

カウント・イン機能の追加

SYSTEM SETTING (CTRL タブ) に以下のパラメーターを追加しました。

パラメーター	設定値	説明
Count-In Stp	OFF、 1 ~ 128	カウント・インを設定します。録音を開始する前に、指定したステップ数のカウント・インが再生されます。カウント・インの出力先はメトロノームと同じです。 「1 ~ 128」のときは、メトロノームのオン/オフにかかわらず、カウントイン中にメトロノーム音が鳴ります。

Chord Designer への機能追加

Chord Designer に以下のパラメーターを追加しました。

パラメーター	説明
WRITE ALL TYP1	1 つのコードをクロマチックに並行させながらコードを生成します。設定されたパラメーターを基準に、KEY の設定を 1 つずつ変更しながらすべてのパッドに書き込みます。
WRITE ALL TYP2	スケール上に並んだコードを生成します。設定されたパラメーターを基準に、ROOT の設定を 1 つずつ変更しながらすべてのパッドに書き込みます。

Audio Insert 機能の追加

USB 接続した機器の音声やトラックの出力を、トラックに挿入する機能です。PC IN に入力された音声やトラックの出力を、指定したトラックの MFX の前に挿入します。

TRACK SETTING (GENE タブ) に以下のパラメーターを追加しました。

パラメーター	設定値	説明
Insert	OFF	Audio Insert 機能を使用しません。
	PC IN L/R	PC IN に入力された音声をステレオ信号として挿入します。
	PC IN L	PC IN に入力された音声の左側 (L) を、ステレオ信号として挿入します。
	PC IN R	PC IN に入力された音声の右側 (R) を、ステレオ信号として挿入します。
TRACK1 ~ 3	選んだトラックの出力を、ステレオ信号として挿入します。 ※ 指定したトラックの番号より小さい番号のトラックを挿入することができます。 ※ トラック 1 にはトラックの出力を挿入することはできません。	

※ 挿入元のトラックを出力しないときはフェーダーを下げてください。
※ Audio Insert のトラックのクリップごとに異なる MFX を設定したいときは、Sound Src を CLIP に設定してください。

ルーパー・トラックへの機能の追加

BPM Sync パラメーターの追加

ルーパー・トラックの TRACK SETTING (GEN タブ) に以下のパラメーターを追加しました。

パラメーター	設定値	説明
BPM Sync	OFF、ON	オンにすると、BPM に合わせてフレーズの再生速度が変化します。 変化させたくない場合はオフに設定します。

Export 機能の追加

ルーパー・トラックの LOOPER MENU に以下の機能を追加しました。

機能	操作	説明
EXPORT CLIP	[SHIFT] ボタンを押しながら [SOUND] ボタンを押し、 [VALUE] ダイアルで選ぶ	[VALUE] ダイアルを押すと、選択されているクリップを WAV ファイルとして SD カードに保存します。 ※ ROLAND/GROOVEBOX/SAMPLE/EXPORT フォルダに連番で保存されます。

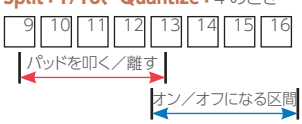

PC IN に Delay/Reverb Send を追加

PROJECT SETTING (PC IN タブ) に以下のパラメーターを追加しました。PC IN の入力にディレイやリバーブをかけることができます。

パラメーター	設定値	説明
PC Dly Send	0 ~ 255	トータル・エフェクトのディレイへのセンド量を調節します。
PC Rev Send	0 ~ 255	トータル・エフェクトのリバーブへのセンド量を調節します。

SCATTER への機能追加

PAD の設定画面に以下のパラメーターを追加しました。

パラメーター	設定値	説明
Pan Glide	-16 ~ 0 ~ +16	PAN で設定されている定位に対して設定した回数だけ左右に定位が変化します。 PAN が 0 (中央) の場合は +1 で中央→右端、+2 で中央→右端→中央、+3 で中央→右端→中央→左端へと滑らかに変化します。
Quantize	OFF 1 ~ 16	クオンタイズをかけません。 設定したステップ数の間隔でクオンタイズをかけて、パッドを叩いたときや離れたときのタイミングと長さを設定区間に揃えます。 少し早めを操作することにより、SCATTER を正確なタイミングと長さで ON にすることができます。 Split : 1/16、Quantize : 4 のとき  Split : 1/16、Quantize : 5 のとき 

PAD の Grain パラメーターに以下の設定を追加しました。

パラメーター	設定値	説明
Grain	Random1 ~ 16	Grain をランダムに再生します。 再生される Grain は設定値に応じてランダムに選ばれます。 たとえば、Random4 のときは強拍 (ダウンビート) の Grain のみが再生されます。フレーズに合わせて設定してください。 Random1 : 1 ~ 16 Random2 : 1, 3, 5, 7, 9, 11, 13, 15 Random3 : 1, 4, 7, 10, 13, 16 Random4 : 1, 5, 9, 13 : Random8 : 1, 9 ※ SIZE または HOLD が 1 を超えているときは、押している間の Grain は変化しません。

メトロノーム音出力先の選択機能を追加

SYSTEM SETTING (CTRL タブ) に以下のパラメーターを追加しました。

パラメーター	設定値	説明
MetPos	MIXOUT	トータル・エフェクトの後ろに出力します。(USB 出力されません。)
	PRE T-FX	トータル・エフェクトの前に出力します。(USB 出力されます。)
	POST T-FX	トータル・エフェクトの後ろに出力します。(USB 出力されます。)

ショートカットの追加

動作	操作
シーン・チェーンの ON / OFF を切り替える	SCENE 画面で [SHIFT] ボタンを押しながら [VALUE] ダイアルを押す
First Scene を呼び出す	[CLIP] ボタンを押しながら [START/STOP] ボタンを押す

不具合／機能の修正

- 外部機器の MIDI クロックにエフェクトが同期する場合の揺らぎを改善しました。
- トーン・パラメーターの LFO が TEMPO SYNC SW:ON のときに徐々にずれが生じていく問題を修正しました。
- クリップ・チェーンでクリップが切り替わるときに音が途切れる不具合を修正しました。
- Looper Optimize 実行後に再生すると Looperトラックで誤ったクリップが再生されることがある不具合を修正しました。
- MIDI IN 端子に大量の MIDI データが送られたときにバッファが飽和する問題を修正しました。
- Chord Designer をプレビューしたときにアルペジエータが誤動作することがある不具合を修正しました。
- MX-1 の USB HOST 3 端子 (BUS POWERD) 以外の USB HOST 端子に接続して動作中に電池が消耗したとき、「Battery Low」などのメッセージが表示されない不具合を修正しました。
- ※ MX-1 の USB HOST 端子に接続して使用する場合は、USB HOST 3 端子 (BUS POWERD) に接続して MX-1 から電力供給するか、MC-101 の [VALUE] ダイアルを押しながら電源を入れ、強制的に電池から電力供給するモードで起動してから使用してください。
- その他の軽微な不具合を修正しました。

Ver.1.60 の追加機能

アルペジエータ機能の追加

NOTE モード、CHORD モードにアルペジエータ機能を追加しました。

アルペジエータを有効にする

1. [NOTE] ボタンを押して、PAD MODE を NOTE モードにします。

2. [NOTE] ボタンを長押しします。

アルペジエータが ON になります。

アルペジエータを OFF にするには、NOTE ボタンをもう一度長押ししてください。

メモ

- EXIT ボタンを押しながら NOTE ボタンを押すと、素早く ON/OFF を切り替えることができます。
- CHORD モードでも同様の手順でアルペジエータ機能を設定できます。

NOTE SETTING 画面に ARP タブと、以下のパラメーターを追加しました。

パラメーター	設定値	説明
MOTIF	UP、DOWN、UP&DOWN、RANDOM、NOTE ORDER、GLISSANDO、CHORD、AUTO1、AUTO2、PHRASE	コードの構成音の鳴る順番を、以下の中から設定します。 UP : 押したキーの低いほうから順番に鳴ります。 DOWN : 押したキーの高いほうから順番に鳴ります。 UP&DOWN : 押したキーの低いほうから高いほうへ、さらに折り返して低いほうへ順番に鳴ります。 RANDOM : 押したキーの音がランダム（無作為）に鳴ります。 NOTE ORDER : キーを押した順番に鳴ります。キー押す順番を工夫すればメロディー・ラインを作ることができます。128 音まで保存することができます。 GLISSANDO : 押したキーの最低音と最高音の間を半音ずつ上昇、下降を繰り返しながら鳴ります。最低音と最高音の 2 音を押します。 CHORD : 押したキーの音がすべて同時に鳴ります。 AUTO1 : キーを鳴らすタイミングを、押したキーの低いほうから優先して自動的に割り当てます。 AUTO2 : キーを鳴らすタイミングを、押したキーの高いほうから優先して自動的に割り当てます。 PHRASE : 1 つのキーを押すだけで、そのキーのピッチを基準にフレーズが鳴ります。複数のキーを押した場合は、最後に押されたキーが有効になります。
VARIATION	1/4、1/8、1/4T、1/16、1/8T、1/32、1/4x2、1/8x2、1/4Tx2、1/16x2、1/8Tx2、1/32x2	アルペジオの、1 ステップあたりの音符の長さを選びます。X2 の場合、2 音を同時に演奏します。 1/4 : 4 分音符 1/4T : 3 連 4 分音符 1/8 : 8 分音符 1/8T : 3 連 8 分音符 1/16 : 16 分音符 1/16T : 3 連 16 分音符 1/32 : 32 分音符
OCTAVE	-3 ~ +3	アルペジオ演奏をする音域をオクターブ単位で設定します。弾いた和音の音だけで演奏したいときは「0」にします。 弾いた和音とその 1 オクターブ上の音で演奏するときは「+1」に、弾いた和音とその 1 オクターブ下の音で演奏するときは「-1」に設定します。
HOLD	ON、OFF	ON にすると、鍵盤を押し続けなくてもアルペジオ演奏を持続することができます。

USB 関連の機能追加

(Generic ドライバー機能の追加)

Generic ドライバー機能の追加

スマートフォン等の機器 (iOS) と USB で接続し、MIDI 信号やオーディオ信号のやり取りができるようになりました。

SYSTEM SETTING (CTRL タブ) に以下のパラメーターを追加しました。

パラメーター	設定値	説明
USB Drv	VENDOR	PC と接続するときや AIRA Link で MX-1 などと接続するときを選択します。
	GENERIC	スマートフォン等の機器と接続するとき接続します。電力供給が足りない場合は、[VALUE] ダイアルを押しながら MC-101 を起動することで電池から電力供給をすることができます。
D.USB Mixout	OFF	USB への MIX OUT 出力音量は、[VOLUME] つまみの音量を反映します。
	1 ~ 127	USB への MIX OUT 出力音量は、[VOLUME] つまみの音量を反映せず、設定した音量で出力します。

SCATTER への機能追加

SCATTER の PAD エフェクトの ON / OFF を、MIDI 信号で制御できるようになりました。

Control Channel のノート番号 60 ~ 75 を使用します。詳しくは『**MIDI インプリメンテーション**』(PDF) をご覧ください。

PAD の設定画面に以下のパラメーターを追加しました。

パラメーター	設定値	説明
POS	OFF、PC、TRK1 ~ 4、MIXOUT	Pad を押したときに Scatter の挿入先を切り替えます。Scatter の効果をかける対象を Pad ごとに変えることができます。 ※ OFF の場合は、挿入先を切り替えず、SCATTER 全体の POS の設定に従います。 ※ エフェクトの効果によっては、古い挿入先の対象に効果がかかることがあります。

SYSTEM SETTING (MIDI タブ) に以下のパラメーターを追加しました。

Parameter	Value	Explanation
RX Scatter	OFF、ON	外部からの SCATTER のエフェクトの信号を受信するかしないか設定します。

サウンド・パック / SVZ Drum インポート機能の追加

サウンド・パック / SVZ ファイルのインポート機能をドラム・トラックでも使用できるようになりました。

サウンド・パックのインストール方法については、『**サウンド・パック / SVZ ファイルのインポート機能の追加 (サウンド・パックのインストール方法)**』(P.6) をご覧ください。

RANDOM TONE DESIGNER 機能の追加

トーン・トラックの音色をランダムに生成することができます。

トーンを生成する

1. 音色を変更したいトーン・トラックを選びます。

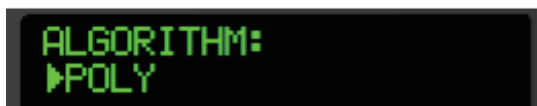
2. [VALUE] ダイアルを押します。

ブラウザー・メニューが表示されます。



3. [VALUE] ダイアルで [RANDOM] を選び、[VALUE] ダイアルを押します。

RANDOM TONE DESIGNER が表示されます。



4. [VALUE] ダイアルでアルゴリズムを選び、[VALUE] ダイアルを押して音色を生成します。

アルゴリズム	説明
POLY	ポリフォニックの音色を生成します。
MONO	モノフォニックの音色を生成します。
PAD	シンセ・パッドを生成します。
MOD	モジュレーションが掛かった音色を生成します。
ANALOG	アナログシンセサイザーを再現した音色を生成します。
A.MONO	アナログシンセサイザーを再現した、モノフォニックの音色を生成します。
A.PAD	アナログシンセサイザーを再現した、シンセ・パッドを生成します。
DRUM	シンセ・ドラムの音色を生成します。
KICK	キックの音色を生成します。
SNARE	スネアの音色を生成します。
CYMBAL	シンバルの音色を生成します。
C.BELL	カウベルの音色を生成します。

ノートのサブ・ステップ機能の追加 (トーン・トラック)

トーン・トラックでサブ・ステップを使用できるようになりました。

ステップのサブ・ステップを編集する

1. PAD [SEQ] ボタンを押します。

パッドが SEQ モードになります。

2. ノートが入力されているパッド (赤く点灯しているパッド) を押します。

STEP EDIT 画面が表示されます。

選んでいるステップのノートが表示されます。

3. もう一度同じパッドを押します。

設定画面に切り替わります。

[C2] つまみでサブ・ステップを設定します。

STEP EDIT 画面に以下のパラメーターを追加しました。

パラメーター	設定値	説明
SUB	OFF、1/2、1/3、1/4、FLAM	サブ・ステップを設定します。

ノートの長さ／タイの編集機能の追加 (ドラム・トラック)

ノートの長さ／タイを編集する

1. PAD [SEQ] ボタンを押します。

パッドが SEQ モードになります。

2. [SHIFT] ボタンを押しながら、ノートが入力されているパッド (赤く点灯しているパッド) を押します。

DRUM STEP EDIT 画面が表示されます。

選んでいるステップのノートが表示されます。

3. もう一度同じパッドを押します。

設定画面に切り替わります。

[C1] つまみでノートの長さを設定します。

DRUM STEP EDIT 画面に以下のパラメーターを追加しました。

パラメーター	設定値	説明
END	0 ~ 99、TIE	ノートの発音終了タイミングを設定します。 TIE: 次のステップのノートと連続して発音します。

トータルエフェクトのコンプレッサーへの機能追加

各バンドでのゲイン・リダクション・メーター表示を追加



各バンドに Release Sync を追加 (テンポに追従したリリース・タイムを設定)

TOTAL EFFECTS EDIT 画面 (COMP タブ) に以下の項目を追加しました。

パラメーター	設定値	説明
High Release Sync	OFF、1/16、1/8T、1/16、1/8、1/4T、1/8、1/4	テンポに追従したリリース・タイムを設定します。
Mid Release Sync	OFF、1/16、1/8T、1/16、1/8、1/4T、1/8、1/4	テンポに追従したリリース・タイムを設定します。
Low Release Sync	OFF、1/16、1/8T、1/16、1/8、1/4T、1/8、1/4	テンポに追従したリリース・タイムを設定します。

ショートカットの追加

動作	操作
TIE を入力する	ドラム・トラックの SEQ モードで、[EXIT] ボタンを押しながら [STEP] ボタンを押します。

不具合／機能の修正

- プロジェクトの保存時間を改善しました。
- シーン 9～128 を Program Change の受信で制御できない問題を修正しました。
- パッドをミュートするときにクリップ選択してしまう問題を修正しました。
- サウンド・ブラウザーでプレビューできないことがある問題を修正しました。
- サウンド・ファイルを読み込むときに音色が即時反映されない問題を修正しました。
- 音色をコピーしたときにクリップ名等の不要な情報がコピーされてしまう問題を修正しました。
- 誤記を修正しました。
- 編集するクリップの対象が誤っている場合がある問題を修正しました。
- NOTE モードのスケールを Chromatic 以外に設定したときに、CHORD モードで [OCT+] [OCT-] [TIE/REST] ボタンが機能しない問題を修正しました。
- CHORD モードでのステップ編集時、パッドのノートと選択中のステップのノートが一致したときに赤く点灯するようになりました。

Ver.1.50 の追加機能

サウンド・パック / SVZ ファイルのインポート機能の追加 (サウンド・パックのインストール方法)

SD カードに保存されたサウンド・ファイル (サウンド・パック (.SDZ) / .SVZ ファイル) をトーン・トラックに読み込むことができます。

サウンド・パックなどのサウンド・ファイルは、Roland Cloud で配信しています。

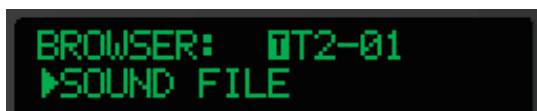
Roland Cloud について、詳しくは、ローランドのホームページをご覧ください。

➔ <https://www.roland.com/jp/>

※SDZ / SVZ ファイルを読み込むときは、SD カードの ROLAND / SOUND フォルダー内に保存してください。

1. 音色を変更したいトラックを選びます。
2. [NOTE] ボタンを押して、PAD MODE を NOTE モードに切り替えます。
3. [VALUE] ダイアルを押します。

ブラウザー・メニューが表示されます。



4. [VALUE] ダイアルで [SOUND FILE] を選び、[VALUE] ダイアルを押します。

サウンド・ファイル・ブラウザーが表示されます。



操作子	説明
[VALUE] ダイアル	<p>フォルダー階層を選んでいる場合: 1 つ下のフォルダー階層に移動します。</p> <p>ファイルを選んでいる場合: ファイルの中身を表示します。</p> <p>ファイルの中身を表示している場合: 音色を読み込みます。</p>
[EXIT] ボタン	<p>ルート以外のフォルダー階層を選んでいる場合: 1 つ上のフォルダー階層に移動します。</p> <p>ルート・フォルダーを選んでいる場合: サウンド・ファイル・ブラウザーを終了します。</p> <p>ファイルの中身を表示している場合: ファイルの選択に戻ります。</p>

メモ

フォルダーの場合は、先頭に「F:」と表示されます。

注意

ユーザー・ライセンスについて

サウンド・パック (.sdz) には、ユーザーのライセンス情報が紐付いています。サウンド・パックが MC-101 本体にインポートされると、MC-101 はユーザー・ライセンス情報を元にユーザー本人がダウンロードしたサウンド・パックのみを扱うようになります。このとき、本体へのライセンス情報のインストールを確認する「Install License」というメッセージが表示されます (このメッセージが表示されるのは初回のみです)。

ユーザー・ライセンス情報が異なるサウンド・パックを扱うことはできません。異なるユーザー・ライセンス情報を持つサウンド・パックをインストールしようとすると、「License Error」と表示されます。

譲渡などで本体内のユーザー・ライセンス情報を削除したい場合は、UTILITY MENU にある FACTORY RESET を実行してください。FACTORY RESET を実行すると、システム設定が工場出荷時の状態に戻ります。

エラー・メッセージの追加

メッセージ	説明 / 対処
Format Error	<p>選んだ音色ファイルが MC-101 に対応していないか、ファイルが破損しているときに表示されます。</p> <p>ダウンロード元の対応機種をご確認のうえ、もう一度ダウンロードをお試しください。</p>
License Error	<p>選んだ音色ファイルが異なるユーザー・ライセンスに紐付いているときに表示されます。</p> <p>インストールするには、すでにインストールされている音色ファイルと同じユーザー・ライセンスのファイルを用意するか、ユーザー・ライセンスを初期化する必要があります。</p> <p>ユーザー・ライセンス情報を初期化するときは、UTILITY MENU にある FACTORY RESET を実行してください。</p> <p>FACTORY RESET を実行すると、システム設定が工場出荷時の状態に戻ります。</p>

シーン数の追加

バンクの切り替えで、より多くのシーンを使用できるようになりました。

動作	操作
シーンのバンクを切り替える	PAD MODE [CLIP] ボタンを押しながらパッド [9] ~ [16] を押します。 パッド 9 ~ 16 に切り替えるときは、もう一度同じパッド [9] ~ [16] を押します。
シーンの表示を固定する	シーンが画面に表示された状態で [SHIFT] ボタンを押します。
シーンの内容を保存する	PAD MODE [CLIP] ボタンを押しながらパッド [1] ~ [8] を長押しします。
シーンの内容を削除する	[SHIFT] ボタンと [PROJECT] ボタンを押しながら、パッド [1] ~ [8] を押します。

MIDI 入出力機能にパラメーター追加

CLIP SETTING 画面に、以下のパラメーターを追加しました。

パラメーター	設定値	説明
Tx PC	Default	クリップを選んだときとクリップが切り替わったときに、クリップ番号に対応するプログラム・チェンジ・ナンバー 0 ~ 15 を送信します。
	OFF	プログラム・チェンジ・ナンバーを送信しません。
	PC000 ~ 127	クリップが切り替わったときに、指定したプログラム・チェンジ・ナンバーを送信します。 クリップと外部の音源の音色をセットで切り替えるときに便利な機能です。

メモ

トラック設定の Tx PC を [ON] に設定する必要があります。詳しくは、「リファレンス・マニュアル」(PDF) をご覧ください。

PAD MODE CHORD の追加

PAD MODE に、パッドでコードが演奏できる **【CHORD モード】** を追加しました。

1 つのプロジェクトに 13 個までのコードを保存できます。

CHORD モードに切り替える

1. NOTE モードの状態では **【NOTE】 ボタン** を押します。

CHORD モードに切り替わり、【NOTE】 ボタンが点滅します。もう一度 【NOTE】 ボタンを押すと、NOTE モードに戻ります。

コードを編集する

1. **【SHIFT】 ボタン** を押しながら **【FILTER】 ボタン** を押します。

CHORD DESIGNER が表示されます。

操作子	説明
[VALUE] ダイアル	表示する項目を切り替えます。
[SOUND] ボタン	コードの音色をプレビューします。
パッド [2]、[3]、[5]、[6]、[7]、[9] ~ [16]	コードを書き込むパッドを選びます。 【SOUND】 ボタンを押しながらパッドを押すと、コードが保存されます。

パラメーター	説明
KEY	スケールのキーになる音を設定します。
SCALE	コードの元となるスケールを設定します。 スケールについては、「スケール一覧 (KEY が C の場合)」(P.11) をご覧ください。
ROOT	コードのルート音を設定します。
SPREAD	コードの構成音を設定します。 ルートを 1 番としたスケール上の音階が数字で表示されます。
>>WRITE PAD	[VALUE] つまみを押すと、選んだパッドにコードが保存されます。

パラメーターの追加

STONE SETTING / KIT SETTING 画面に、以下のパラメーターを追加しました。

パラメーター	設定値	説明
Mix Level	0 ~ 127	音色をミックスしたときの音量を調節します。 Level パラメーターをモーションで変化させた場合でも、音量変化を維持したままトラック全体の音量を調節できます。

ドラム・トラックのパッドの設定に、以下のパラメーターを追加しました。

パラメーター	設定値	説明
Voice	MULTI、SINGLE	同じパッドを複数回押したときの発音のしかたを設定します。 MULTI : 同じパッドの音を重ねて鳴らします。 クラッシュ・シンバルのように持続音が長い音を続けて鳴らしたときでも、前の音を消さずに重ねて鳴らします。 SINGLE : 同じパッドの音は 1 音ずつしか鳴らしません。 持続音の長い音を続けて鳴らしたとき、前の音を消して次の音を鳴らします。
EnvMode	NO-SUS、SUSTAIN	パッドを押したときの挙動を設定します。 NO-SUS : パッドを押してすぐに音量の減衰が始まります。 SUSTAIN : パッドを離すと音量の減衰が始まります。

MOTION DESIGNER の設定に、以下のパラメーターを追加しました。

パラメーター	設定値	説明
FORM TYPE	COS、RND	SIN から位相が 90 度ずれた波形です。 ランダムな値を出力します。

NOTE UTILITY 機能の追加

トーン・トラック / ドラム・トラックの STEP EDIT 画面で、**【NOTE UTILITY】** が使えるようになりました。

- 【SEQ】 ボタン** を押して、PAD MODE を SEQ モードに切り替えます。
- 【SHIFT】 ボタン** を押しながらパッド [1] ~ [16] を押します。
STEP EDIT 画面が表示されます。
- 【SHIFT】 ボタン** を押しながら **【FILTER】 ボタン** を押します。
NOTE UTILITY が表示されます。

機能	説明
SHIFT NOTE UP	クリップの全ノートを、1 つ (半音) 上げます。 ※ トーン・トラックのみの機能です
SHIFT NOTE DOWN	クリップの全ノートを、1 つ (半音) 下げます。 ※ トーン・トラックのみの機能です
SHIFT NOTE LEFT	クリップの全ノートを、1 つ前のステップに移動します。
SHIFT NOTE RIGHT	クリップの全ノートを、1 つ後のステップに移動します。
QUANTIZE	クリップの全ノートを、クオンタイズします。

ユーザー・サンプル編集機能の追加

トーン・トラック／ドラム・トラックに、取り込んだユーザー・サンプルを編集する機能が追加されました。

ドラム・トラックの場合

1. [NOTE] ボタンを押して、PAD MODE を NOTE モードに切り替えます。

2. [SHIFT] ボタンを押しながら、編集するサンプルを取り込んだパッド [1] ～ [16] を押します。

メニューが表示されます。

3. [VALUE] ダイアルで [SAMPLE EDIT] を選び、[VALUE] ダイアルを押します。

ユーザー・サンプルの編集画面が表示されます。

トーン・トラックの場合

1. [SHIFT] ボタンを押しながら [SOUND] ボタンを押します。

メニューが表示されます。

2. [VALUE] ダイアルで [SAMPLE EDIT] を選び、[VALUE] ダイアルを押します。

ユーザー・サンプルの編集画面が表示されます。

パラメーター	設定値	説明
Mode	FWD、ONESHOT、REV、REV-ONE	再生方法を設定します。
Start	0 ～ 8388607	再生を開始する位置を設定します。
Loop	0 ～ 8388607	ループする位置を設定します。
End	0 ～ 8388607	再生を終了する位置を設定します。
OrgKey	C-1 ～ G9	サンプルのピッチを設定します。
Fine	-50.0 ～ 50.0 cent	ピッチを微調整します。
Gain	0dB、+6dB、+12dB	サンプルの大きな音量を設定します。
Level	0 ～ 127	音量を設定します。

ショートカットの追加

動作	操作
ドラム・キットのパッドの内容をコピーする	ドラム・トラックの NOTE モードで、[SHIFT] ボタンを押しながら [FX] ボタンを押すと、コピーされます。
ドラム・キットのパッドの内容をペーストする	もう一度 [SHIFT] ボタンを押しながら [FX] ボタンを押すとペーストされます。

不具合／機能の修正

- Auto Channel の使用時、外部 MIDI 機器から入力されたノートを出力するようになりました。
- ステップのコピー／ペースト機能で、STEP2 に対して正しくコピーできないことがある問題を修正しました。
- シーンを呼び出すときに、編集するクリップも切り替えるようになりました。
- ルーパー・トラックのサンプルの Strtch を [OrgBPM] に設定したとき、BPM を編集できないことがある問題を修正しました。
- クリップを作成したときに、REC MEAS が適応されないことがある問題を修正しました。
- サンプルをプレビューするときにフリーズすることがある問題を修正しました。
- 各トラックのつまみ ([C1] ～ [C4]) を操作したときに、CC (コントロール・チェンジ・メッセージ) が出力されないことがある問題を修正しました。

Ver.1.30 の追加機能

クリップ・チェーン機能の追加

クリップ・チェーン機能を使うと、任意のタイミングで指定したクリップを再生することができます。

クリップ・チェーン機能を利用すると、クリップを連続で再生して曲を作成したり、フィル・インを設定したりすることができます。

CLIP SETTING 画面に以下の設定を追加しました。

パラメーター	設定値	説明
NEXT CLIP	次に再生するクリップや動作を設定します。	
	STAY	現在と同じクリップを再生します。
	STOP	クリップの再生を停止します。
	CLIP 1 ~ 16	指定したクリップを再生します。
LENGTH	次の動作をするタイミングを設定します。	
	OFF	クリップが最後まで再生されたタイミングで次の動作をします。
	1 ~ 512	次の動作をするタイミングを、ステップ単位で指定します。

※MEASURE EDIT 画面からも同様に設定できます。

[C1] ~ [C4] つまみの機能追加

システム設定 (CTRL タブ) に以下の設定を追加しました。

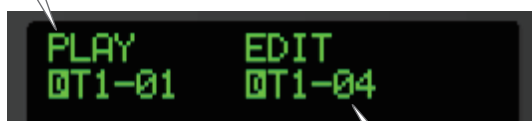
パラメーター	説明
KnobTrk	SINGLE: [C1] ~ [C4] つまみ で、1つのトラックの SOUND、FILTER、MOD、FX パラメーターをコントロールします。 MULTI: [C1] ~ [C4] つまみ で、4つのトラックの、 [SOUND] 、 [FILTER] 、 [MOD] 、 [FX] ボタンで選ばれたパラメーターをコントロールします。

CLIP モードの機能追加

再生中のクリップ以外を編集できるようになりました。

CLIP モードの表示を変更しました。

再生中のクリップを表示します。トラックの停止中は「STOP」と表示されます。



編集するクリップを表示します。再生するクリップを切り替えるときに、「NEXT」と表示されます。

動作	操作
再生/編集するクリップを変更する	パッド [1] ~ [16] を押します。
編集するクリップを変更する	[SHIFT] ボタンを押しながらパッド [1] ~ [16] を押します。 [VALUE] つまみを回します。
クリップを削除する	[SHIFT] ボタンと [PROJECT] ボタンを押しながら、パッド [1] ~ [16] を押します。

SMF インポート機能の追加

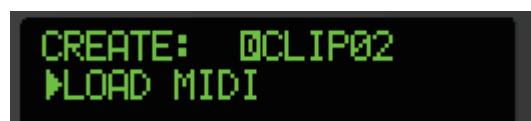
SD カードに保存された SMF (スタンダード MIDI ファイル) をクリップに読み込むことができます。

※SMF を読み込むときは、SD カードの ROLAND/GROOVEBOX/ MIDI フォルダー内に保存してください。

1. PAD MODE を CLIP に設定し、SMF (スタンダード MIDI ファイル) をロードしたい空クリップを選びます。

2. [VALUE] つまみを押し込みます。

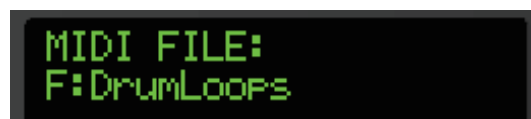
CREATE 画面が表示されます。



3. LOAD MIDI を選びます。

4. MIDI FILE を選びます。

MIDI/SMF ファイル・ブラウザーが表示されます。



操作子	説明
[VALUE] ダイヤル	フォルダー階層を選んでいる場合 : 1つ下のフォルダー階層に移動します。 ファイルを選んでいる場合 : サンプルをロードします。
[EXIT] ボタン	ルート以外のフォルダー階層を選んでいる場合 : 1つ上のフォルダー階層に移動します。 ルート・フォルダーを選んでいる場合 : SMF ブラウザーを終了します。

メモ

フォルダーの場合は、先頭に「F:」と表示されます。

注意

SMF に含まれるすべてのトラックが1つのクリップに上書きされます。

5. [ENTER] ボタンを押して読み込みます。

MIDI 入出力機能への機能追加

[FILTER] つまみ、[MOD] つまみ、[FX] つまみで出力する CC (コントロール・チェンジ・メッセージ) の番号を設定できるようになりました。

トラック設定 (MIDI タブ) に以下の項目を追加しました。

パラメーター	設定値	説明
Tx FILTER CC Number	CC0, CC1, CC2... CC119	[FILTER] つまみで、出力する CC の番号を設定します。
Tx MOD CC Number	CC0, CC1, CC2... CC119	[MOD] つまみで、出力する CC の番号を設定します。
Tx FX CC Number	CC0, CC1, CC2... CC119	[FX] つまみで、出力する CC の番号を設定します。

Auto Channel 機能の追加

Auto Channel 機能を利用できるようになりました。

入力された MIDI 信号を、TRACK SEL [1] ~ [4] ボタンで選ばれているトラックに送信します。

MIDI キーボードなどを接続するときに便利な機能です。

システム設定 (MIDI タブ) に以下の項目を追加しました。

パラメーター	設定値	説明
MIDI Rx Auto Channel	OFF、CH1、CH2、CH3…CH16	設定した MIDI チャンネルに入力があった場合、TRACK SEL [1] ~ [4] ボタンで選択中のトラックへ MIDI 信号を送信します。

ショートカットの追加

動作	操作
小節を複製する (DUPLICATE)	トーン/ドラム・トラックで、[SEQ] ボタンを押しながら MEASURE [>] ボタンを押します。
選択中のステップをコピーする 選択中のステップにペーストする	トーン・トラックの NOTE EDIT 画面で、[SHIFT] ボタンを押しながら [FX] ボタンを押してコピーします。 もう一度操作するとペーストします。
ドラム・トラックにサブステップを入力する	ドラム・トラックで、[SEQ] ボタンを押しながらパッド [1] ~ [16] を押します。
KnobTrk の設定を切り替える	[SOUND]、[FILTER]、[FX]、[MOD] ボタンを同時に押します。

不具合の修正

- ドラム・トラックでサンプルを使用したときに使用されるボイス数を改善しました。
- TOTAL MFX で MFX を切り替えながら [FX PRM] つまみと [FX DEPTH] つまみを操作するとハング・アップする問題を修正しました。
- [VALUE] つまみで MFX Type を変更するとつまみにアサインされている MFX パラメーターのアサインが正しく変更されない問題を修正しました。
- 破損した WAV ファイルをインポートするとフリーズする問題を修正しました。
- STORAGE モードを終了するときフリーズすることがある問題を修正しました。
- ユーザー・サンプルをインポートしたときに 1 サンプル短く読み込まれる問題を修正しました。

Ver.1.20 の追加機能

スケール演奏機能の追加

NOTE モードの設定に、以下の項目を追加しました。

パラメーター	説明
SCALE	スケールを設定します。 → スケールについては、「スケール一覧 (KEY が C の場合)」をご覧ください。

メモ

- Chromatic 以外のスケールでオクターブをシフトするには、[NOTE] ボタンを押しながら [OCT-] [OCT+] パッドを押します。
- スケールを Guitar、Violin に設定すると、パッドを指板に見立てて演奏することができます。

サンプル・ブラウザーの機能追加

サンプル・ブラウザーがフォルダー階層に対応しました。

操作子	説明
[VALUE] ダイヤル	フォルダー階層を選んでいる場合 ：1 つ下のフォルダー階層に移動します。 ファイルを選んでいる場合 ：サンプルをロードします。
[EXIT] ボタン	ルート以外のフォルダー階層を選んでいる場合 ：1 つ上のフォルダー階層に移動します。 ルート・フォルダーを選んでいる場合 ：WAV ブラウザーを終了します。
[SOUND] ボタン	サンプルをプレビューします。

メモ

フォルダーの場合は、先頭に「F:」と表示されます。

スケール一覧 (KEY が C の場合)

SCALE	C	C#	D	D#	E	F	F#	G	G#	A	A#	B
Chromatic (半音階)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Minor (Aeolian) (短音階)	✓		✓	✓		✓		✓	✓		✓	
Major (Ionian) (長音階)	✓		✓		✓	✓		✓		✓		✓
Dorian (ドリアン・スケール)	✓		✓	✓		✓		✓	✓		✓	
Phrygian (フリジアン・スケール)	✓	✓		✓		✓		✓	✓		✓	
Lydian (リディアン・スケール)	✓		✓		✓		✓	✓		✓		✓
Mixolydian (ミクソリディアン・スケール)	✓		✓		✓	✓		✓		✓	✓	
Locrian (ロクリアン・スケール)	✓	✓		✓		✓	✓		✓		✓	
Minor Pentatonic (マイナー・ペンタトニック・スケール)	✓			✓		✓		✓			✓	
Minor Blues (マイナー・ブルース・スケール)	✓			✓		✓	✓	✓			✓	
Bebop Minor (Bebop Dorian) (ビバップ・ドリアン・スケール)	✓		✓	✓	✓	✓		✓		✓	✓	
Harmonic Minor (和声的短音階)	✓		✓	✓	✓	✓		✓	✓			✓
Melodic Minor (旋律的短音階)	✓		✓	✓	✓	✓		✓		✓		✓
Major Pentatonic (ペンタトニック・スケール)	✓		✓		✓			✓		✓		
Major Blues (メジャー・ブルース・スケール)	✓		✓	✓	✓			✓		✓		
Bebop Major (ビバップ・メジャー・スケール)	✓		✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓		✓
Altered (オルタード・スケール)	✓	✓		✓	✓		✓		✓		✓	
Whole Tone (全音階)	✓		✓		✓		✓		✓		✓	
Diminished Whole-Half (ディミニッシュ・スケール)	✓		✓	✓		✓	✓		✓	✓		✓
Diminished Half-Whole (コンビネーション・ディミニッシュ・スケール)	✓	✓		✓	✓		✓	✓		✓	✓	
Gypsy Minor (Hungarian Minor) (ジプシー・マイナー・スケール/ハンガリアン・マイナー・スケール)	✓		✓	✓			✓	✓	✓			✓
Romanian Minor (Ukrainian Dorian) (ルーマニア・マイナー・スケール/ウクライニアン・ドリアン・スケール)	✓		✓	✓			✓	✓		✓	✓	
Spanish 8 Notes (スパニッシュ 8 ノート・スケール)	✓	✓		✓	✓	✓	✓		✓		✓	
Bhairav Thaata (Mayamalavagowla) (バイラヴ・タート音階)	✓	✓			✓	✓		✓	✓			✓
Marva Thaata (Gamanasrama) (マルバ・タート音階)	✓	✓			✓		✓	✓		✓		✓
Purvi Thaata (Kamavardani) (プルビ・タート音階)	✓	✓			✓		✓	✓	✓			✓
Todi Thaata (Shubhapantuvarali) (トーディ・タート音階)	✓	✓		✓			✓	✓	✓			✓
Arabic (アラビア音階)	✓		✓		✓	✓	✓		✓		✓	
Egyptian (エジプト音階)	✓		✓			✓		✓		✓		
Chinese (中国音階)	✓				✓		✓	✓				✓
Pelog (ペログ音階)	✓	✓		✓				✓	✓			
Hirajoshi (平調子音階)	✓		✓	✓				✓	✓			
Miyakobushi (都節音階)	✓	✓				✓		✓	✓			
Ryukyu (琉球音階)	✓				✓	✓		✓				✓

MIDI 入出力機能への機能追加

つまみ操作、CLIP 切り替え、シーン切り替え、MIDI 出力、CLIP 切り替え、シーン切り替え

システム設定 (MIDI タブ) に以下の項目を追加しました。

パラメーター	設定値	説明
Control Channel	CH1、CH2、CH3…CH16	シーンの切り替えをする MIDI チャンネルを切り替えます。
Control Tx OUT	OFF、ON	シーンの切り替えを MIDI OUT へ出力するかしないか設定します。
Control Tx USB	OFF、ON	シーンの切り替えを USB MIDI へ出力するかしないか設定します。
Control Rx	OFF、ON	外部からのシーンの切り替えを受信するかしないか設定します。

TRACK 設定 (MIDI タブ) に以下の項目を追加しました。

パラメーター	設定値	説明
Tx Note	OFF、ON	各トラックのノートを出力するかしないか設定します。 ※ LOOPER トラックでは表示されません。
Tx CC	OFF、ON	各トラックのつまみの操作を出力するかしないか設定します。
Tx PC	OFF、ON	各トラックの CLIP の切り替えを出力するかしないか設定します。

ショートカットの追加

動作	操作
シーケンサーの再生モードを一時的にランダムにする	トーン/ドラム・トラックの TRACK SEL [1] ~ [4] ボタンを押しながら、MEASURE [>] ボタンを押します。
シーケンサーの再生モードを一時的にリバースにする	トーン/ドラム・トラックの TRACK SEL [1] ~ [4] ボタンを押しながら MEASURE [<] ボタンを押します。
メトロノームを使用する	[TEMPO] ボタンを押しながら [EXIT] ボタンを押します。

メトロノーム機能の追加

メトロノーム機能を使用できるようになりました。

メトロノームは、マスター・クロックに同期して動作、発音します。

TEMPO 画面に以下のパラメーターを追加しました。

パラメーター	設定値	説明
METRONOME	ON、OFF	メトロノームを使用するか (ON)、しないか (OFF) を設定します。 ※ [TEMPO] ボタンを押しながら [EXIT] ボタンを押しても ON、OFF を切り替えることができます。

不具合の修正

- スキャッター操作時、まれに一瞬無音になる不具合を修正しました。
- ルーパーに WAV インポートするとユーザー・サンプルの設定が初期化されてしまう問題を修正しました。
- ドラム・トラックのインストに 44.1kHz 以外のサンプル・レートの WAV ファイルをロードさせると正しいピッチで再生されない不具合を修正しました。
※ Ver.1.02 以前で作成したプロジェクトを読み込んだ場合は、ドラム・トラックで 44.1kHz 以外のサンプル・レートを使用していると再生ピッチが変わってしまいます。
- WAV ファイルをクリップにロードしたときにクリップ名が正しく反映されない不具合を修正しました。
- プロジェクトの選択画面と、WAV FILE の選択画面で 200 個目以降のファイルを選んだ場合フリーズする不具合を修正しました。
- その他、軽微な不具合を修正しました。

Ver.1.02 の追加機能

SCATTER の機能追加

パラメーターの設定範囲の拡大

「Reverse」の設定が「ON」のときに「RetrigGlide」が使用できるようになりました。

再生位置の表示

再生時にステップの再生位置を表示するようになりました。

TONE STEP EDIT の機能追加

操作性の改善

SOUND/FILTER/MOD/FX ボタンを押しながら [VALUE] ダイアルを回すことで、各パラメーターの調整範囲の変更と、設定値の微調整ができるようになりました。

ドラムキットのサウンド・ブラウザーにアルファベット順表示機能追加

ドラムキットのアルファベット順表示に対応しました。

→ サウンド・ブラウザーについては、『リファレンス・マニュアル』(PDF) をご覧ください。

現在の Project 名の表示機能

[PROJECT] ボタンを押し続けると、ProjectName が表示されるようになりました。

MOTION のパンチ・イン

[REC] ボタンを押しながら、[C1] ~ [C4] つまみを操作すると MOTION をパンチインできるようになりました。

LOOPER クリップの自動設定機能の追加

クリップの MEASURE を変更したときに、クリップの STEP LENGTH が、連動して設定されるようになりました。

不具合の修正

- 外部機器と同期したときの発音タイミングがずれる不具合を修正しました。
- PC 起動、再起動時に USB 接続されていると PC から認識されない不具合を修正しました。
- トーン・ブラウザーで PROJECT からロードするときにハングアップする不具合を修正しました。
- プリセットブラウザーで DrumInst が適応されないことがある不具合を修正しました。
- プロジェクトのロード直後に LOOPER クリップが正常に再生されないことがある不具合を修正しました。
- LOOPER クリップへの録音時のフェードによってアタックが弱くなる症状を改善しました。
- LOOPER クリップへの録音を途中でキャンセルしたときに不要なクリップが残ってしまう不具合を修正しました。
- MFX - FUZZ の Tone パラメーターが最大値 100 を超える無効な値に設定できる不具合を修正しました。
- フレーズの SCALE の値が 3 拍子に設定されている場合 (1/4T、1/8T、1/16T) に、STEP LENGTH を 96 ステップ以上に設定できる不具合を修正しました。
- SCATTER 動作時のノイズを低減させました。
- その他、軽微な不具合を修正しました。